

リゾート会員権0.3%高

5月 高額商品流通で底上げ

リゾート会員権の販売を仲介するe会員権(横浜市)がまとめた5月の会員権の平均価格は、前月比0.3%(1万円)高い357万円だった。上昇は2カ月連続となる。700万円台の高額商品

が市場に新規投入され、全体の相場を底上げした。新型コロナウイルス禍の収束で、会員権への需要が広がったようだ。高価格帯である「エクスブシリーズ」の六甲サシクチュアリ・ヴィラ(神

戸市)や芦屋ベイコート倶楽部(芦屋市)などが市場に流通し、平均単価を押し上げた。取引件数は、低価格帯の100万円未満が最も多かった。取引件数のうち41%を占め、前月より

10%増えた。サンメンバーズ・ワールドホリデーなどの会員権の取引が活発だった。

e会員権の涌井智子代表は「新型コロナウイルスが5類に移行し、リゾート会員権へ興味を持つ層が広がってきているのではないか。日経平均株価が3万円台を回復したことも追い風となりそう」と分析する。